

ウサギを飼う準備②

フード編

ウサギの健康を維持するために欠かせないのがフードです。
フードを与える時の注意点とポイントを確認しておきましょう。

1. 牧草（乾草）

ウサギの主食は牧草です。牧草には繊維質が多く、臼歯の状態を良好に保ったり、腸のぜん動運動を促すことによって消化活動を助けるなど重要な役割があります。

牧草は食べ過ぎを心配する必要はありません。好きな時に食べられるよう、牧草入れにたっぷりセットしておきましょう。

しかし、ペレットに比べて食いつきが良くないので、たくさん食べさせるためには工夫も必要です。乾草が湿っていると食べが悪く、衛生的にもよくないため、古いものを放置せず常に新しいものを与えるようにしましょう。

牧草にはチモシー、オーチャードグラス、アルファルファなどいくつかの種類があり、栄養価や噛みごたえが違うため、ウサギの成長に合わせて適したものを選ぶことが大切です。

ワンポイント

牧草が一番の主食だよ。
新しいものを食べたいな。



2. ペレット

ペレットは粉にした牧草とその他の食材や栄養素をミックスし、食べやすく固めたものです。牧草だけでは不足しがちな栄養素の一部を取り込むための副食として与えましょう。

ペレットは食いつきが良いのですが、牧草に比べるとカロリーが高いため、適量を守らないと太ってしまうことがあります。また、牧草を食べる量が減るため、歯のトラブルの原因にもなります。繊維質が多く、バランスのよいものを選びましょう。

生後半年以上のウサギは、体重の1.5～3%を目安に1日2回、朝は少なめ、夜は多めに与えると良いでしょう。

ワンポイント

ペレットは牧草の栄養価を補う
補助食と考えよう!



3. 野菜・野草

野菜は絶対に必要なものではありませんが、食欲が落ちているときの栄養・水分補給やしつけのごほうびとして取り入れるのには良いでしょう。

緑黄色野菜を中心に、繊維質が多いものを選びます。食べ過ぎると下痢をすることがありますので、あげすぎには注意しましょう。

野草も与えることができますが、刺激が強すぎるものや中毒をおこすものもあるので、安全が確認できるものだけにしましょう。

ワンポイント

あげても大丈夫か調べよう。
よく洗って水気を切って与えよう。



4. おやつ（果物・ドライ食品・穀類を含む食品）

果物にはビタミンや繊維が豊富なものもありますが、おやつという位置づけです。甘みがあるので好むウサギは多いですが糖分とカロリーが高いため、与える量に注意しなければなりません。

野菜や果物などをカットして乾燥させたドライ食品もウサギ好みの食べ物です。加糖などできるだけ添加物を含まず、繊維質の多いものを選びましょう。特にドライフルーツは乾燥によって糖分などが濃縮されているので、生の果物以上に与える量には注意が必要です。

穀類を含むウサギ用ビスケットなども好んでよく食べます。しかし穀類にはでんぷん質が多く含まれており、与えすぎは腸などの消化管に負担がかかるため、与える量に注意が必要です。

いずれも食欲をなくしているとき、しつけのごほうびとして飼い主さんとコミュニケーションをとるときなどに上手に活用しましょう。

ワンポイント

糖分とカロリーが高いよ！
与えすぎには注意してね。



5. 与えてはいけないもの

食べると中毒を起こすもの、ウサギにはカロリーが高すぎるものなどを誤って与えないように、十分に注意しましょう。

- ジャガイモの芽や皮
- ネギ類
- ニンニク
- ニラ
- 生の大豆
- アボカド
- ヒガンバナ
- アサガオ
- スイセン
- パンジー
- ワラビ
- 観葉植物
- 人の食事、おやつ
- チョコレート
- アルコール類
- コーヒー
- お茶

ワンポイント

この他にも食べてはいけないものはたくさんあるよ。
注意してね。

